



500年、
城と生きる町へ。
くまもと

見上げれば、
今日も、
くまもとは
熊本城があります。

いつも同じ場所であって、人々を見守ってくれるもの。人々が見上げるたびに、勇気や希望を与えてくれるもの。それが、熊本城です。だから、昨日までの困難を乗り越えて、今日の日を迎える私たちには、胸にこみ上げる思いがあります。町からいつも通りに天守閣が見える幸せと、大きな安心感、そして、今、私たちは心に誓います。築城からこれまでの400年と同じように、これから100年もまた、城とともに強く生きていくことを。「表の並木には桜を。裏の並木には栗を」。城を築いた加藤清正公の言葉のように、旅人を心からおもてなしできる、美しく豊かな城下町になることを。

本日より、
熊本城
特別公開。

